

# 社長は定時に帰る

## ストーリー

部下に仕事を押し付けて帰宅しよう！  
誰よりも先に出世して、社長で定時帰宅を目指せ！

対象年齢：10歳以上

プレイ時間：15～20分

人数：3～5人（4人推奨）

## コンポーネントの内容

あそびかた（本紙）

手札カード 10枚×5セット

スタートプレイヤーカード 1枚

残業コイン 15枚

## ゲームの準備

- ①各プレイヤーは同じ色の手札カードを1セット全て（10枚）受け取ります。
- ②各プレイヤーは手札カードを①から⑩まで数字順に①が一番上になるように表向きで重ねて、山札にします。
- ③山札から4枚のカード（①・②・③・④）を取って最初の手札とします。（手札は数字が他のプレイヤーに見えないように持ちます）
- ④残業コインを場に出しておきます。
- ⑤この1週間で1番多く残業した人が、任意の方法でスタートプレイヤーを決めます。
- ⑥スタートプレイヤーはスタートプレイヤーカードを受け取り、自分の前に置きます。

製作・販売



Twitter @rasiel\_library

HP <http://rsel.wp.xdomain.jp/>



ゲームデザイン ラジエル・ともっく  
イラスト さとのすけ

## ゲームの進め方

- ①スタートプレイヤーは手札からカードを1枚選び、相手に見えないように場に伏せて出します。
- ②他のプレイヤーも手札からカードを1枚選び、相手に見えないように場に伏せて出します。
- ③スタートプレイヤーが残業コインを持っている場合、残業コインを使用することで、伏せて出したカードの数字を増減することができます。増減する場合は、プラスかマイナスを宣言し、スタートプレイヤーカードのプラスエリアかマイナスエリアに増減させたい数の残業コインを置きます。
- ④全員のカードを同時に表にし、残業プレイヤーを決定します。決定方法については右記の「残業プレイヤーの決定方法」を参照して下さい。
- ⑤残業プレイヤーは出したカードを手札に戻します。
- ⑥残業プレイヤー以外のプレイヤーは、出したカードを捨て札として自分の手もとに表向きで置き、自分の山札の一番上のカードを手札に加えます。※社長カード(10)を手札に加えたとき、そのプレイヤーは「私は定時で帰る！」と宣言します。
- ⑦残業プレイヤーが“残業を押し付けられた”場合は、そのプレイヤーは残業コインを場から1枚受け取ります。(押し付けられた場合のみ)また、社長カードを手に入れた後、社長カード以外で定時退社した(手札を加えることができなくなった)場合も残業コインを場から1枚受け取ります。場の残業コインがなくなった場合は何も受け取れません。(押し付けた人数・押し付けられた人数に関わらず、残業コインは1人1枚です)(残業コインを複数のプレイヤーが受け取る場合、全員分の残業コインが場にはない場合は全員コインを受け取れません。)
- ⑧スタートプレイヤーが残業コインを使用した場合は、使用した残業コインを場に戻します。スタートプレイヤーカードを左隣のプレイヤーに移し、①~⑧を繰り返します。

## ゲームの終了

プレイヤーが社長カード(10)を出して、残業プレイヤーにならなかった場合(残業コインを使用して数字を変更していた場合も含む)もしくは、プレイヤーの手札が社長カード1枚だけになった場合そのプレイヤーが勝者となり、ゲームを終了します。

また、同時に複数プレイヤーが条件を満たした場合、残っている残業コインの枚数が多い方を勝者とし、残業コインの枚数が同じであった場合はどちらも勝者とします。

## 上級者ルール

ゲームが終了したとき、勝者のプレイヤーは得点を15点獲得します。他のプレイヤーは、手札に残っているカードの一番小さな数字を得点として獲得します。残った残業コインは1枚1点として得点に加えます。プレイヤーの数だけゲームを繰り返し、最も得点の高いプレイヤーが真の社長となります。

## 残業プレイヤーの決定方法

全員の数字を確認し、1番大きい数字を出したプレイヤーが残業プレイヤーとなります。ただし、以下の条件に当てはまる場合は、別のプレイヤーに残業を押し付けます。

(残業コインを使用している場合は、残業コインの数だけプラスかマイナスをした数字で判断します)

1番大きい数字より、1つ小さい数字のカードが出ている場合、1つ小さい数字を出したプレイヤーに残業を押し付けます。また、この条件は繰り返し判定を行い、連鎖していきます。

※全員が同じ数字を出した場合は、全員カードを手札に戻し、残業コインをそれぞれ1枚受け取り、スタートプレイヤーカードを左隣のプレイヤーに移します。

例) 場に出ているカードが「7、4、4、2」の場合

1番大きい数字が7なので、7のカードを出したプレイヤーが残業プレイヤーとなります。この場合は、残業を押し付けられたわけではないため、残業コインを受け取ることはできません。

例) 場に出ているカードが「6、5、3、2」の場合

1番大きい数字は6ですが、1つ小さな5のカードが出ているため5のカードを出したプレイヤーが残業プレイヤーとなります。この場合は、残業を押し付けられたため、5のカードを出したプレイヤーは残業コインを1枚受け取ります。

例) 場に出ているカードが「9、7、6、5、5」で、スタートプレイヤーが9のカードを出し、残業コインを3枚使用し、マイナスを宣言した場合

スタートプレイヤーの数字が6に変わっているため、事実上カードの数字は「7、6、6、5、5」となっています。

1番大きい数字は7ですが、1つ小さな6のカードが出ており、さらに6より1つ小さな5のカードが出ているため、5のカードを出したプレイヤー2人が残業プレイヤーとなり、残業を押し付けられたため、残業コインをそれぞれ1枚ずつ受け取ります。

例) 場に出ているカードが「7、7、6、5、5」で、スタートプレイヤーが7のカードを出し、残業コインを2枚使用し、マイナスを宣言した場合

スタートプレイヤーの数字が5に変わっているため、事実上カードの数字は「7、6、5、5、5」となっています。

1番大きい数字は7ですが、1つ小さな6のカードが場に出ており、さらに6より1つ小さな5のカードが出ているため、5のカードを出したプレイヤーと7から5に数字を変えたスタートプレイヤーの3人が残業プレイヤーとなり、残業を押し付けられたため、残業コインをそれぞれ1枚ずつ受け取ります。